

平成25年度 佐久長聖高校 学校関係者評価

評価 A：十分できている B：概ね十分できている C：普通である D：不十分なところがある E：ほとんどできていない

分野	評価項目		評価の観点	評価	成果と課題
学習指導	授業内容の充実	1	授業評価を適宜行い、その内容を検討して、生徒の学ぶ意欲を喚起する授業ができたか。	A	次の授業に繋がる課題を提示し家庭学習するように工夫している。様々な学力層の生徒に興味・関心を持ってもらえるように工夫しているがⅡ類の授業は難しい。学力差の大きいクラスでのポイントの絞り方が難しい。生徒が意欲的に取り組みたくなるような授業を工夫する必要性を感じる。学ぶ意欲を喚起するための教材研究に努めてほしい。
	教科指導力の向上	2	研究授業や教員相互の授業参観を実施し、授業の質的向上に役立てたか。	A	研究授業で授業のあり方、分析の仕方、方法について確認し、自己反省・改善に結びつけられた。有志で勉強会を開くことができている。ベテラン教員の授業や難関大学受験のための授業を見る機会を設けたり、個々の教員が積極的に授業参観をする機会を増やしてほしい。授業を参観しあう機会を増やし教員間の連携を図りたい。
		3	模試・検定結果を教科内で分析し、生徒の学力に応じた授業を実施したか。	A	模試、確認考査等のデータを分析し、生徒の学力を踏まえ実態に合わせた授業ができた。対症療法的な指導になってしまいがちなので、長期的な見通しをもって指導してほしい。教科内での分析に力を入れてほしい。学習状況調査を実施したり、面談をこまめに行い、具体的な問題を指摘しアドバイスした。下位生への興味関心の喚起が課題。
	学習習慣の確立	4	学習状況・学習時間の定期的調査と面接指導で、適切なアドバイスができたか。	A	毎日の生活記録提出とそれをもとにした面談により、クラスの学習時間アップした。意欲の低い生徒への声がけに工夫を要する。生徒は素直に聞くが実行に結びついていないかは疑問。生徒により学習量に差があり、時間の使い方などについて適切な指導・助言を継続する必要がある。生徒が勉強したいと心から思わせるようにしてほしい。
		5	授業効率を上げるため、生徒の授業に臨む姿勢の育成・指導に努めたか。	A	提出物のきめ細かいチェック、毎時のドリル、小テスト、授業中の態度の指導などにより、授業に臨む姿勢が向上している。授業に集中できない生徒については教科担任と連携して指導してほしい。わからない問題に対してすぐにあきらめてしまう傾向があるので粘り強さも身につけさせたい。授業態度をはじめとし、大人の人間としての態度、行動が取れるように日々指導してほしい。家庭学習を増やす工夫を考えたい。
進路指導	希望進路の実現	6	3年間を見通した計画に基づいて指導が行われたか。 各学年と係の連携が十分であったか。 (模試・補習・進路講話・大学研究会・勉強合宿等)	B	計画がきちんと立てられ、特別な無理もなく多様な指導ができている。学年教科会の定期的な実施により学習指導の意思統一および情報の共有がさらに必要。類、文系理系ごとの統一した視点を徹底し、学年全体で向かう方向性についての議論をより深めていきたい。校内模試分析により、各教科ごとの学習成果がわかり、学習指導の改善に繋がった。補習の計画的・効率的な立案が必要。
		7	進路指導に生かせるようなデータ整備・分析ができたか。	A	模試、考査のデータ分析が緻密になされ、情報を共有できた。卒業生の在学時データの整理もしてほしい。
		8	勤労と職業観を育てるキャリア教育を実施したか。	B	授業時の情報提供を心がけた取り組みをしている。自己の将来を考える発問も意図的に行った。保護者や卒業生の協力も得て、キャリアガイダンスを充実させていきたい。学年としての計画性が必要。
生活指導	自立的生活の確立	9	服装・挨拶等、生徒の自律的取り組みの支援ができたか。	A	積極的に取り組んでいて挨拶・制服は良くなった。言われないと動けない生徒もいるので自律的取組へは継続指導が必要。
	生徒相談の充実	10	担任・学年・部活顧問・生徒指導係等が連携を取りながら適切に生徒相談に乗れたか。	A	学年団や教科担当を中心に互いに連絡を密にして生徒の変化に気づき指導できた。相互の情報交換は活発になされており、学年を越えた指導態勢が整っている。もっと深く生徒の内面に入っでの指導が必要である。館生については情報交換が良くできている。
	安心・安全な 学習環境の確保	11	校内の清掃美化が進んだか。 定期的な巡視・立門・交通安全指導ができたか。	A	清掃のしかたを工夫し短時間でいかに早くきれいにできるかを意識して生徒と協力して行った。一方、教師が見ているときと見ていないときで生徒の行動に差があり指導に苦労した。女子生徒の登下校時の安全確保。美化意識は高まってきたが、安全指導については、自転車の乗り方がまだ指導を要する。
開かれた学校	開かれた学校 づくり	12	地域や保護者の意見・要望に対して迅速に対応できたか。	A	保護者からの要望に迅速に対応し信頼を得るように心がけた。他の職員と情報や結果などの情報を共有していく必要がある。部活については生徒・指導者・保護者の連携が最も重要。
		13	ホームページや学年通信を通して、各種情報を生徒や保護者に提供できたか。	A	学年通信、学級通信を発行し、生徒の様子や必要な情報を提供しているが保護者向けの情報をさらに多く提供するように努めてほしい。ホームページの活用がどのようにできるか工夫する。館だよりを発行することで生徒の様子を提供している。保護者が期待感を持ってくれるように要望にも応えていってほしい。
		14	情報を積極的に発信し、地域との連携を深めたか。	B	地域との連携をより深め、地域に認められる存在であることが大事。地域との関わり方について探ってゆきたい。